

地域貢献への取り組み

社会貢献活動

琉球銀行は、社会貢献活動も地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全活動への助成など、さまざまな活動に取り組んでいます。

地域福祉への支援活動

平成18年6月には、りゅうぎんユイマール助成会^(注)から長雨災害による県内被災者へ支援金を贈呈しました。7月には全営業店が警察署から子どもを犯罪から守る「太陽の家」に指定されました。また、那覇市内の営業店近隣の道路管理・美化について那覇市、国、県と「道路ボランティア協定」を締結しました。さらに、公益信託契約代理店として、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻(うるま)福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営にたずさわっています。

芸術文化支援活動

芸術・文化活動の支援としては、沖縄県内の若手工芸家の育成と伝統工芸である紅型を広く紹介することを目的に、りゅうぎん紅型デザイン公募展を毎年開催しています。今年は、応募された力作の中から、坂本友紀さんの「スーマンポーズ」が大賞に選ばれ、琉球銀行の2007年カレンダーの図柄として採用されることになりました。「第15回記念特別賞」には、首里高校染色デザイン課3年生の竹中亜沙美さんが選ばれました。また、地域への社会貢献と県内の若手芸術家育成を目的に、平成10年より「りゅうぎんふれあいコンサート」を開催しています。これまで、クラシックコンサート、組踊、オペラ、バレエなどの公演に、学生や福祉施設の障害のある方など約7,000名を招待してきました。



「太陽の家」委嘱状交付式



源河朝明福祉基金



紅型公募展贈呈式

(注)りゅうぎんユイマール助成会は、平成5年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに募金と同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役職員から1,000万円の募金が集まった場合、銀行も1,000万円を拠出し、合計2,000万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は、241件、1億354万円となりました。(平成18年11月30日現在)